

パラリンピアンとの交流（ブラインドサッカー）



集まって、講師の葭原滋男さんに自己紹介していただきました。葭原さんは、走り高跳び選手としてもパラリンピックに出場し、銅メダルを獲得しています。



子どもたちは、アイマスクを付けたたり、ブラインドサッカー用のボールを手にしたりしました。ボールの中に何か入っています。



アイマスクをして見ると真っ暗な世界になりました。子どもたちは見えないということは、とても不安になるということを実感しました。



アイマスクをしたままボールを蹴り、目標のコーンにボールを当てます。アシスト役の友達やコーチの声だけが頼りです。



見事に目標のコーンにボールを当てることができました。自分だけの力ではなく、みんなの協力があったのです。



無事に全員の体験が終わり、講師の先生の話をお聞かせいただきました。実際のブラインドサッカーでは、この状態でゴールにボールを入れて競い合うと聞き、子どもたちは、さらにびっくりしました。